赤崎山 散策マップ

サクラの並木みち
（ピンク色のコース）

森林公園入口 ⇔ 山頂駐車場
観察所要時間 30分

クジャクチョウ

道の両脇を飾るオオヤマザクラとソメイヨシノを見ながらの散策。

オオヤマザクラ

ここからの景色がすごい!!
白稜青龍の眺め

残雪期や晩秋には、飯豊連峰が雪化粧し、その白く輝く稜線は神々しいほどです。

眼下に流れる阿賀野川は、大きく蛇行して、まるで青い龍のよう。じっと見つめていると、吸い込まれてしまいそうな気持になります。

桜の季節には、角神湖畔が花いっぱいになり、まさにここは「天女の花筏」。

雄大で美しい眺めに感動せずにはいられません。

風を感じよう!
赤崎山頂へのみち
（茶色のコース）

山頂駐車場 ➡ 赤崎山頂
観察所要時間 20分

赤崎山頂へ続く尾根沿いのみちは左右に眺望が開けた、爽快なルートです。

山頂のパノラマは、天空から眺めたような雄大さ。

遠くの只見山系から、御神楽岳や日本平山が一望できます。

希少な「オノオレカンバ」も風に梢を揺らしてあなたを迎えてくれるでしょう。

オオルリ

カモシカ

赤龍松

白いブナのこみち
（グレー色のコース）

山頂駐車場 ⇔ ブナ林 ⇔ 森林公園入口
観察所要時間 50分

起伏の少ないゆるやかな落ち着いたみち。白い木肌のブナ林が心を癒してくれます。

キビタキ

まなびのこみち
（黄色のコース）

赤崎山頂展望台「天空の風」➡ 池周辺
観察所要時間 20分

クロサンショウウオ

アキアカネ

たくさんの特徴ある樹木や池の生き物たちを観察しながらの散策。クロサンショウウオやモリアオガエルが待っています。

モリアオガエル

赤崎山は動植物の宝庫

赤崎山に分布する植物は、これまでに528種が確認されていますが、特にオノオレカンバとエゾヒョウタンボクは、珍しい樹木です。哺乳類は、特別天然記念物のカモシカ、ツキノワグマ、タヌキ、キツネ、テン、リスなど18種が確認されています。東蒲原郡内に生息する鳥類は185種確認されており、赤崎山周辺では天然記念物のイヌワシや絶滅危惧種であるクマタカなどが見られます。

希少種「オノオレカンバ」

カバノキ科の落葉高木で岩の多い山地に生えます。樹皮は黒褐色で厚く鱗片状に割れて剥れます。

4～5月ころ、枝先に垂れ下がるようにして雄花が開花します。

本種の主な分布は、本州中部以北の太平洋側ですが、新潟県内では鹿瀬地区の赤崎山と万治峠だけに確認されている希少種です。赤崎山と万治峠の生息地は、いずれも北向きの岩場のある急斜面です。赤崎山では幹周り84cm、万治峠では222cmの巨木が確認されています。両地域とも現状では植生に及ぼす環境変化の影響は少ないようですが、今後も生息地の環境保全に特段の配慮が必要です。

黄褐色の紅葉と樹形

特徴ある木肌

赤崎山のブナ林

赤崎山に見られるブナ林は、かつて薪炭林として利用されたもので、伐採後に萌芽などで再生した林が大半です。胸高直径は20～40cmの若い林といえます。ブナと共にアカイタヤ、ミズナラ、ホオノキ、アズキナシなどが見られ、低木としてオオバクロモジ、ユキツバキ、エゾユズリハ、ムシカリなどが生育しています。

赤崎山に見られるブナ林のタイプは、以下の三つに分けられます。

ブナ群落❶（ブナーオオバクロモジ群落）

ブナやミズナラなどが林を構成し、林床にはオオバクロモジ、リョウブ、ムシカリなどが見られます。中でもオオバクロモジの生育が特徴的です。赤崎山では、森林公園の西側に続く尾根沿いの北向きの斜面に比較的多く見られます。

ブナ群落❷（ブナーユキツバキ群落）

ブナが優先して林を構成し、林床を常緑低木のユキツバキが覆っている環境です。

赤崎山では、森林公園西側コースの南東から東に面した斜面や沢筋にユキツバキの群生を見ることができます。

ブナ群落❸（ブナーエゾユズリハ群落）

常緑のエゾユズリハがブナの林床を覆う環境です。西側尾根に続くコースの北斜面の一部に見られますが、その面積はユキツバキに比べると小さいようです。